

生誕120年

映画監督 山本嘉次郎

Kajiro Yamamoto Retrospective
in Celebration of the 120th Anniversary of His Birth

PROGRAM

No. 38

NFAJプログラム
2022年7月発行

電子チケットは
手数料無料!

国立映画アーカイブ[地下1階]

小ホール 定員=151名(各回入替制・全席指定席)
館内でのチケット販売・発券はございません。
開映後の入場はできません(予告篇なし)。

チケット

7月26日(火)以降、毎週火曜日10:00より、翌週(火~日)上映回の電子チケット(126席・指定席)を当館HPより公式チケットサイトにて開映15分前までオンライン販売します。

●詳細は4頁、または国立映画アーカイブHPをご覧ください。

セブン-イレブンのコピー機で購入される方へ
セブン-イレブンでもチケットぴあを通じて25席分(指定席)のみ販売。
Pコード:552-290(ぴあサイトでのオンライン販売なし)

●座席選択不可、発券手数料が110円かかります。
●発売日程は電子チケットと同じです。

チケット料金

一般:520円/高校・大学生・65歳以上:310円/小・中学生:100円/
障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメン
バース・未就学児・優待:無料

●料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
●学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。
●未就学児、優待の方は「障害者または付添者等券」をお求めください。

下記に該当する方は購入をお控え願います。

新型コロナウイルス感染症について

●陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方
●検査結果待ち、あるいは体調不良の諸症状がある方
●ご自身の身近に感染の疑いがある方
●過去14日間以内に、陽性の方と濃厚接触がある方、感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方

入場方法

●開場は開映30分前です。
●QRコードをスマホ画面、または印刷したものでご提示ください。特集名、作品名はチケットに表示されませんので、お間違いのないようご注意ください。

表紙画像:『孫悟空』(1959)撮影時の山本嘉次郎監督



←国立映画アーカイブHP

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。
上映会番号453

2022年

8月2日(火) — 28日(日)

本特集の休映日:月曜日および8月5日(金) — 6日(土)

*会期、上映スケジュールおよびチケットの発売方法、定員の変更等の場合はHPでお知らせします。

*マスク着用のない方の入館をお断りします。

*来館者全員に検温を行います。37.5℃以上の方は入館をお断りします。



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

小ホール
上映作品

生誕120年

映画監督 山本嘉次郎

Kajiro Yamamoto Retrospective
in Celebration of the 120th Anniversary of His Birth

山本嘉次郎(1902-1974)は、1924年の監督デビュー後、シナリオ作家として頭角を現した日活太秦を経て、1934年にP.C.L.へ移籍し、エノケンの音楽喜劇映画や文芸映画路線の先駆けとなった『坊っちゃん』(1935)などを演出して、同社の屋台骨を支える監督の一人として活躍の場を広げます。1937年にP.C.L.が東宝に吸収合併された後も、長谷川一夫の入社第1作となる時代劇『藤十郎の戀』(1938)、セミ・ドキュメンタリータッチで描かれる『綴方教室』(1938)や『馬』(1941)、特撮を活かした戦争映画『ハワイマレー沖海戦』(1942)などで、ジャンル映画の新たな可能性を切り拓きました。また、戦後の第2次東宝争議後に組合が自主製作した『明日を創る人々』(1946)以降も、一時東宝を離れて独立プロ『映画芸術協会』の設立に参加し、『風の子』(1949)や『春の戯れ』(1949)などで自由な映画作りを主導しました。1951年には『ホープさん サラリーマン虎の巻』で東宝復帰をはたし、第一線を退く1966年まで、ユーモアと詩情をたたえた作風で、生涯に90本以上の映画を世に送り出しました。後に監督として盛名をはせた黒澤明や谷口千吉ら後進を育て、不世出のスター・三船敏郎を見出したことも忘れてはならないでしょう。

本特集では、日本映画の黄金期を支えた映画監督・山本嘉次郎の生誕120年という節目の年に、現存が確認されている『青春酔虎傳』(1934)以降の代表作(21プログラム・21作品)を厳選して上映することで、その偉大な業績を振り返ります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

■◎=監督・演出 ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色
◎=撮影 ◎=美術 ◎=音楽 ◎=出演
◎=解説・ナレーション

■スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。

■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

■特集には不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。

マスク着用のない方の入館をお断りします。

当館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策

- 来館者全員への検温を実施。
- 館内各所に手指消毒液を設置。
- 清掃・消毒を強化。
- ホール内の換気を強化。
- スタッフはマスク・手袋等を着用して対応。
- 受付などの対面場所に飛沫ガードを設置。

ご来館の皆様へお願い

- 発熱や風邪などの症状がある方は、来館をお控えください。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。
- こまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。
- 入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。
- ロビー等での飲食は、蓋の閉まる飲み物以外は禁止させていただきます。
- 感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時の記録をお願いします。

・フィルム情報に **NEW** とある作品はニュープリントでの上映です。

1 8/3(水)16:00 8/11(木)16:00

青春酔虎傳(85分・35mm・白黒)

気楽な大学生活を満喫するエノモト(榎本)はやがて卒業を迎えるが…。山本嘉次郎のP.C.L.入社第1作で、P.C.L.が浅草で人気を博していた榎本健一の一席と提携を結んだ初めての作品。音楽映画の夢を語り合ったエノケンと「ミュージカルを撮るということ」で、喜んでP.C.L.に馳せ参じた」と回想する山本は、軽演劇で培ったエノケンの持ち味と身体能力を活かした数々の場面を演出した。本作を皮切りに山本による「エノケン映画」は昭和10年代のP.C.L.(後に東宝)の看板となる。

1934(P.C.L.)◎山本嘉次郎◎PB.文藝部、P.C.L.文藝部◎唐澤弘光◎北猛夫◎紙恭輔、栗原重一◎榎本健一、二村定一、如月寛多、森健二、柳田貞一、丸山定夫、藤原釜足、中村是好、大川平八郎

2 8/2(火)18:30 8/7(日)12:30

坊っちゃん(79分・35mm・白黒)

無鉄砲な「江戸っ子」の坊っちゃん(宇留木)は松山の中学に赴任し、一癖も二癖もある人物たちと交流することに…。個性豊かな人物と軽やかな台詞回しで原作の遊戯的な文体を再現し、翌年の『吾輩ハ猫デアル』へと続くP.C.L.の文芸映画路線の先駆けとなった作品。宇留木浩は、本作で一躍スターとなり、翌年、浅草の舞台でも坊っちゃんを演じた。漱石の原作は本作を皮切りに5度映画化されている。

1935(P.C.L.)◎山本嘉次郎◎夏目漱石◎小林勝◎唐澤弘光◎北猛夫◎紙恭輔◎宇留木浩、丸山定夫、徳川夢聲、藤原釜足、東屋三郎、森野鍛冶哉、生方賢一郎、竹久千恵子、英百合子、伊藤智子、夏目初子

3 8/4(水)15:50 8/12(金)18:30

エノケンの近藤勇(80分・35mm・白黒)

エノケンが近藤勇と坂本龍馬の二役を演じたP.C.L.最初の時代劇。エノケンと二村定一が立ち上げた劇団「ピエル・ブリアント」の文芸部も加わった脚本で、タンゴやジャズにのせた剣闘シーンや、「パレロ」を活用した池田屋の場面など、時代劇の約束事を縦横無尽に脱臼させている。エノケンは東亜キネマで大部屋俳優だったころから山本に世話になっており、「音楽がわかる人で、気心のしれた人」として慕っていた。

1935(P.C.L.)◎山本嘉次郎◎PB.文藝部、P.C.L.文藝部◎唐澤弘光◎北猛夫◎栗原重一◎三木エツ子◎大藤信郎◎榎本健一、二村定一、中村是好、柳田貞一、如月寛多、田島辰夫、丸山定夫、伊東薫、花島喜世子

4 8/4(水)18:30 8/7(日)15:10 8/10(水)15:00

吾輩ハ猫デアル(88分・35mm・白黒) **NEW**

英語教師の苦沙弥先生(丸山)と彼を取り巻く人々の奇妙なやりとりを描く。前年の『坊っちゃん』と同じスタッフ、キャストが再集結した夏目漱石の最初の小説の映画化。猫の視点による人間観察という原作のテイストとは異なり、いずれも一癖ある人間たちのキャラクターをカリカチュアして見せる群像喜劇となっている。

1936(P.C.L.)◎山本嘉次郎◎夏目漱石◎小林勝◎唐澤弘光◎久保一雄◎紙恭輔◎徳川夢声、丸山定夫、藤原釜足、宇留木浩、北澤彰、千葉早智子、英百合子、清川玉枝

5 8/3(水)18:40 8/13(土)12:20

エノケンのちゃっきり金太[総集篇]

(72分・35mm・白黒・英語字幕付 with English subtitles)
幕末、薩摩藩士の密書を奪ったスリの金太(榎本)と岡っ引きの倉吉(中村)が東海道へと追っかけ珍道中を繰り広げるミュージカル・コメディ。山本はエノケンとのコンビ6作目にあたり、J・マッカーレーの探偵小説『地下鉄サム』を翻案したうえ、戯作者的才気を発揮している。前後篇からなる大作として大ヒットし、「エンタテイメントを企する演出者として日本映画では確かに一流の腕前」と評された。大幅にカットして再編集された総集篇のみ現存。

1937(P.C.L.)◎山本嘉次郎◎唐澤弘光◎北猛夫◎栗原重一◎榎本健一、中村是好、二村定一、柳田貞一、市川圭子、花島喜世子、山懸直代、如月寛多

6 8/9(火)18:20 8/12(金)15:40

藤十郎の戀(95分・35mm・白黒)

山本が元禄時代を蘇らせようとする時代考証に腐心したと語る菊池寛原作の映画化。芸道のため、幼なじみの女将(入江)に偽りの恋を仕かけ、死に至らしめる名女形(長谷川)の物語を描く。松竹からの移籍発表後、暴漢に左の頬を切られた林長二郎が、本名の長谷川一夫を名乗って出演した東宝入社第1作。入江たか子との共演も話題を呼び大ヒットした。長谷川は森一生監督の1955年作で再び藤十郎を演じた。

1938(東宝)◎山本嘉次郎◎菊池寛◎三村伸太郎◎三浦光雄◎小村雪岱◎菅原明郎◎長谷川一夫、入江たか子、藤原釜足、汐見洋、御橋公、瀧澤修、小杉義男、市川朝太郎、中村健峰

7 8/9(火)14:50 8/11(木)12:30

孫悟空[前後篇](135分・35mm・白黒)

『青春酔虎傳』以来、音楽喜劇路線を歩んできた山本=エノケンのコンビの戦前最後となったミュージカル大作。エノケン一座と東宝のスター達に加え、満映の李香蘭や中華電影の汪洋を迎えて豪華な配役となった。音楽や群舞演出などにアメリカ映画の影響が色濃い。円谷英二が参加した特撮も見どころで、山本=円谷コンビは戦後に再び趣向を変えて『孫悟空』(1959)に取り組んでいる。

1940(東宝)◎山本嘉次郎◎三村明◎特殊技術◎圓谷英二、奥野文四郎◎松山崇◎鈴木静一◎榎本健一、岸井明、金井俊夫、柳田貞一、北村武夫、高勢美乗、中村是好、如月寛多、高峰秀子、李香蘭、汪洋、渡邊はま子、三益愛子、益田隆

8 8/2(火)15:00 8/10(水)17:50 8/13(土)14:50

馬(127分・35mm・白黒・英語字幕付 with English subtitles)

岩手山麓の貧しい農村で仔馬の世話をする少女(高峰)の姿をセミ・ドキュメンタリータッチで描く。当時の東條英機陸軍大臣の推薦を受けた国策映画だが、山本は軍馬の育成という枠組みを借りて、少女の成長と丁寧にとらえている。当時17歳の高峰秀子の繊細な演技が高く評価されると同時に、1年間にわたる東北ロケを取り仕切った黒澤明(製作主任)が映画界での評判を高めるきっかけの一作ともなった。

1941(東宝=映画科学研究所)◎山本嘉次郎◎唐澤弘光、三村明、鈴木博、伊藤武夫◎松山崇◎北村滋章◎高峰秀子、竹久千恵子、藤原鶏太、二葉かほる、平田武、細井俊夫、市川せつ子、丸山定夫

9 8/14(日)15:10 8/18(木)15:00

加藤隼戦闘隊(103分・35mm・白黒) **NEW**

戦闘機・単を駆った大日本帝国陸軍の精鋭部隊・加藤隼戦闘隊の実話をもとにした国策映画。その手腕と人柄から「軍神」と称された加藤建夫中佐役に藤田進を配し、部隊への赴任から戦死までを描く。山本は、加藤と部下の関係描写や、陸軍省の後援によって実機を用いたリアルな戦闘シーンに注力しつつ、字幕を駆使するなどして加藤の心情にフォーカスしている。また、助監督を務めた本多猪四郎は、この作品で円谷英二と知り合い、戦後に多数のコンビ作で東宝特撮映画を牽引することとなった。

1944(東宝)◎山本嘉次郎◎山崎謙太◎三村明◎特殊技術◎円谷英二◎松山崇◎鈴木静一◎藤田進、黒川弥太郎、沼崎勲、中村彰、高田稔、大河内伝次郎、河野秋武、灰田勝彦、志村喬



青春酔虎傳

©1934 TOHO CO., LTD

10 8/14(日)12:30 8/17(水)18:30 8/20(土)12:30

明日を創る人々 (83分・35mm・白黒)

終戦後GHQの民主化政策のなかで、東宝にも労働組合が作られる。本作は組合の指導のもと3人の監督が演出に携わり、とある一家が製鋼会社や映画会社などそれぞれの職場で組合活動に目覚めていく姿を描く。山本はその後、苛烈を極めた「東宝争議」のなかで経営側とのゼネスト回避の交渉役を務めるなど、組合と会社の間で奔走することになる。

1946(東宝)◎◎山本嘉次郎◎黒澤明、関川秀雄◎山形雄策◎三浦光雄、伊藤武夫、完倉泰一◎北猛夫、北川恵司◎伊藤昇◎薄田研二、中北千枝子、森雅之、竹久千恵子、志村喬、北澤彪、千葉一郎、椿澄枝、河野糸子

11 8/16(火)15:40 8/19(金)18:30

風の子 (90分・35mm・白黒) **NEW**

争議のため東宝を離れた山本嘉次郎は黒澤明らとともに、映画芸術協会を設立。本作はその第1作にあたる。映画の記録性を重視する山本の『馬』などに続くドキュメンタリー的な手法を取り入れた作品で、当時山本と亀井文夫との対談では『蜂の巣の子供たち』(1948、清水宏)などとともに語られていた。少年作家の山本映佑による原作をもとに、戦時中に疎開した一家の苦難を描く。

1949(映画芸術協会=大東スタジオ)◎◎山本嘉次郎◎山本映佑◎植松永吉◎松山崇◎古閑裕而◎夏川静江、竹久千恵子、渡辺篤、進藤英太郎、藤原釜足、久保謙一、藤本武、池田昌子、小林辰江、渡辺昶子

12 8/13(土)18:10 8/18(木)18:10

春の戯れ (108分・35mm・白黒)

正吉(宇野)は、西洋文明への憧れを断ちがたく、愛し合うお花(高峰)と別れて未知の世界へ旅立つが…。山本が製作も務めた映画芸術協会での第2回作品。山本は、マルセル・パニョルの戯曲『マリウス』の舞台を明治の東京品川に置き換え、時の流れとともに輝きを失っていく初恋の物語を、港町の美しい自然のなかに織り込ませた。高峰秀子は後に本作を「自薦十三作」の一作に数えている。

1949(新東宝=映画芸術協会)◎◎山本嘉次郎◎山崎一雄◎松山崇◎早坂文雄◎高峰秀子、江川宇礼雄、宇野重吉、徳川夢声、三島雅夫、鳥羽陽之助、一の宮あつ子、飯田蝶子、大倉文雄、畔洋二、寺島新、志村喬

13 8/16(火)18:30 8/20(土)15:10 8/24(水)15:40

ホープさん サラリーマン虎の巻 (88分・BD・白黒)

東宝のサラリーマン映画の嚆矢となった作品。会社の野球部強化のため入社してきた「ホープさん」こと風間京太(小林)が、社長(志村)に振り回されながらも、仕事に恋に奮闘する。主演の小林桂樹は、明るい喜劇のなかで年配者の席を奪って出世する辛さも描いていることに、やりがいを感じたと後に語っている。1951年に東宝に戻った山本の復帰第1作となった。

1951(東宝)◎◎山本嘉次郎◎源氏鶏太◎井手俊郎◎中井朝一◎北川恵司◎三木鶏郎◎小林桂樹、高千穂ひづる、三好栄子、東野英治郎、大森義夫、志村喬、沢村貞子、関千恵子、伊沢一郎、小川虎之助、花柳小菊



馬 ©1941 TOHO CO., LTD

14 8/17(水)15:40 8/20(土)18:00

花の中の娘たち (95分・35mm・カラー)

東京近郊の農村で梨農園を営む左平(小堀)は、長男(鴨田)が自動車事故で亡くなり婿養子をとって家を継がせようとするも当の娘たち(杉、岡田)は反発する。山本が製作も務めた東宝初のカラー長篇劇映画。公開当時、フジカラーの淡い色が日本の風物によく合っていると賞賛された。撮影の完倉泰一は、岡田茉莉子が恥ずかしげに頬を赤らめる感じを色で表そうとテストを繰り返したという。

1953(東宝)◎◎山本嘉次郎◎西島大◎完倉泰一◎河東安英◎レイモン・ガロワ=モンブラン◎岡田茉莉子、杉葉子、小林桂樹、小堀誠、本間文子、小泉博、平田昭彦、鴨田清、東野英治郎、立花満枝

15 8/21(日)12:30 8/26(金)15:30

坊っちゃん社員 (96分・35mm・白黒) **NEW**

昭和太郎(小林)は持ち前の正義感が災いして失敗の連続、転勤先の工場でサラリーマン生活の悲哀を知る。そんな太郎をめぐって巻き起こる笑いと風刺の中に、ヒューマニズムが流れる明朗喜劇。『ホープさん サラリーマン虎の巻』に続く源氏鶏太原作の映画化で、当時、東宝お家芸のサラリーマン映画の決定版と位置づけられた。

1954(東宝)◎◎山本嘉次郎◎源氏鶏太◎池田一郎◎安本淳◎河東安英◎渡辺浦人◎小林桂樹、藤間紫、伊豆肇、河内桃子、汐見洋、小峰千代子、斎藤達雄、十朱久雄、伊藤雄之助、塩沢登代路、中村是好、関千恵子、森繁久彌、沢村貞子、山本礼三郎、堺左千夫

16 8/21(日)15:20 8/26(金)18:20

續 坊っちゃん社員 (91分・35mm・白黒) **NEW**

前作に続き、昭和太郎(小林)が親友の技師(伊豆)と雅子(紫)の恋仲を首尾よくまとめ、一方、土地の親分(山本)の馬鹿息子(堺)を懲らして、親分に遠慮する会社の上司らを震え上がらせる。山本は職場のタテ社会に与する旧来のサラリーマン像を刷新する役割を小林に託し、本作でサラリーマン映画の新境地を拓いた。

1954(東宝)◎◎山本嘉次郎◎源氏鶏太◎池田一郎◎安本淳◎河東安英◎渡辺浦人◎小林桂樹、藤間紫、河内桃子、伊豆肇、紫千鶴、横山運平、斎藤達雄、十朱久雄、中村是好、清水将夫、森繁久彌、沢村貞子、山本礼三郎、堺左千夫

17 8/25(木)18:20 8/28(日)12:30

暗黒街 (98分・35mm・白黒) **NEW**

古谷組の幹部にのし上がった庄司(鶴田)は、裏社会とは無縁の医学生・弓子(青山)に想いを寄せる。一方、組の内部では庄司を快く思わない人間たちが暗躍し始めていた…。鶴田、三船、志村を中心としたおたのちの権力抗争に儂い純愛をからめて見せる山本の手際のよい語り口が光る。この映画の成功により、東宝は以後「暗黒街」シリーズを連作することとなった。

1956(東宝)◎◎山本嘉次郎◎菊島隆三◎若尾徳平◎遠藤精一◎阿久根廉◎田伊玖磨◎鶴田浩二、青山京子、根岸明美、小泉博、志村喬、宮口精二、山田巳之助、恩田清二郎、岡豊、堺左千夫、杉山昌三九、三船敏郎



坊っちゃん社員 ©1954 TOHO CO., LTD.

18 8/23(火)18:20 8/27(土)12:30

標高8125米 マナスルに立つ (98分・DCP・カラー)

世界で8番目に高いヒマラヤ山脈のマンスルに挑んだ横有恒を隊長とする第三次日本登山隊が、世界初登山に至る過程を捉えたドキュメンタリー。8千メートル級高地での映像を含む、3万フィートもの撮影フィルムを託された山本は、登頂の苦心が伝わるように演出し、無味乾燥とならないよう人間の面を打ち出して8千フィートの完成尺に構成した。劇場公開され大ヒットして、登山ブームのきっかけの一つとなった。

1956(毎日新聞社=映配)◎◎山本嘉次郎◎◎依田孝喜◎渡辺浦人◎斎藤竹郎◎岡崎三千雄◎◎村木潤次郎◎◎横有恒、今西寿雄、辰沼広吉、千谷壮之助、加藤喜一郎、大塚博美◎森繁久彌

19 8/19(金)15:40 8/24(水)18:30 8/28(日)15:30

東京の休日 (87分・35mm・カラー) **NEW**

山口淑子の結婚引退の記念に、李香蘭としてデビューして以来20年の歩みを讃えるため企画されたエンタテインメント大作。オールスターが友情出演する明朗喜劇に、歌と踊りが織り交ぜられている。アメリカで活躍する服飾デザイナーのメリー川口(山口)が20年ぶりに帰国し、彼女を利用しようとする人々がファッションショーを開くが…。

1958(東宝)◎◎山本嘉次郎◎井手俊郎◎山崎雄◎浜上兵衛◎松井八郎◎山口淑子、宝田明、小泉博、小林桂樹、上原謙、司葉子、青山京子、扇千景、久慈あさみ、白川由美、八千草薫、池部良、加東大介、三船敏郎、森繁久彌、香川京子、原節子

20 8/25(木)15:20 8/27(土)15:25

孫悟空 (99分・35mm・カラー) **NEW**

エノケン主演の1940年作以来19年ぶりに山本=円谷英二コンビが『西遊記』を映画化。子どもに夢を与える「動く絵本」を演出意図に掲げた山本は、三蔵法師の設定を少年(市川)に変更したほか、冒険で徳川夢声の演じる紙芝居の世界をそのまま拡大させたようなセットと、円谷が特撮技術に加え作画合成を駆使して作り上げた幻想的なイメージを融合させ、まるで童話のような世界観を表現した。

1959(東宝)◎◎山本嘉次郎◎村田武雄◎小泉一◎特技監督 円谷英二◎北猛夫◎団伊玖磨◎三木のり平、市川福太郎、千葉信男、中村是好、団令子、小杉義男、由利徹、中田康子、八千草薫、徳川夢声、藤田進

21 8/23(火)15:30 8/27(土)18:20

天才詐欺師物語 ためきの中の狸 [『天才詐欺師物語 狸の花道』改題] (96分・35mm・カラー) **NEW**

天才詐欺師(小林)が取り調べの刑事(三木)や弁護士(志村)、果ては刑務所の看守(藤原)まで言葉巧みに騙して金銭を巻き上げるたびに、驚きに満ちた狂騒的世界が展開する。前作『銀座退屈娘』(1960)から4年ぶりの演出にあたった山本は、「視覚的なギャグで喜劇の面白さを今一度画面であらわしてみたい」と語り、サイレント時代のスラップスティック・コメディにオマージュを捧げた。以後シリーズ化され、遺作『狸の休日』(1966)を含む4作品を手掛けた。初公開時のタイトルは『天才詐欺師物語 狸の花道』。

1964(東宝)◎◎山本嘉次郎◎町田浩二◎戸野延介◎小泉福造◎浜上兵衛◎広瀬健次郎◎小林桂樹、三木のり平、司葉子、森繁久彌、淡路恵子、山茶花究、坂部尚子、坂部紀子、志村喬、藤原釜足、伊藤久哉



天才詐欺師物語 ためきの中の狸 ©1964 TOHO CO., LTD

生誕120年 映画監督 山本嘉次郎
Kajiyo Yamamoto Retrospective in Celebration of the 120th Anniversary of His Birth

2回	8/2回～8/7回上映回の チケット販売開始: 7/26回10:00～	15:00 ⑧ 馬 (127分)	18:30 ② 坊っちゃん (79分)
3回		16:00 ① 青春酔虎傳 (85分)	18:40 ⑤ エノケンのちゃっきり金太[総集篇] (72分)
4回		15:50 ③ エノケンの近藤勇 (80分)	18:30 ④ 吾輩八猫デアル (88分)
7回	12:30 ② 坊っちゃん (79分)	15:10 ④ 吾輩八猫デアル (88分)	
9回	8/9回～8/14回上映回の チケット販売開始: 8/2回10:00～	14:50 ⑦ 孫悟空[前後篇](1940年作) (135分)	18:20 ⑥ 藤十郎の戀 (95分)
10回		15:00 ④ 吾輩八猫デアル (88分)	17:50 ⑧ 馬 (127分)
11回		12:30 ⑦ 孫悟空[前後篇](1940年作) (135分)	16:00 ① 青春酔虎傳 (85分)
12回		15:40 ⑥ 藤十郎の戀 (95分)	18:30 ③ エノケンの近藤勇 (80分)
13回	12:20 ⑤ エノケンのちゃっきり金太[総集篇] (72分)	14:50 ⑧ 馬 (127分)	18:10 ⑫ 春の戯れ (108分)
14回	12:30 ⑩ 明日を創る人々 (83分)	15:10 ⑨ 加藤隼戦闘隊 (103分)	
16回	8/16回～8/21回上映回の チケット販売開始: 8/9回10:00～	15:40 ⑪ 風の子 (90分)	18:30 ⑬ ホープさん サラリーマン虎の巻 (88分)
17回		15:40 ⑭ 花の中の娘たち (95分)	18:30 ⑩ 明日を創る人々 (83分)
18回		15:00 ⑨ 加藤隼戦闘隊 (103分)	18:10 ⑫ 春の戯れ (108分)
19回		15:40 ⑯ 東京の休日 (87分)	18:30 ⑪ 風の子 (90分)
20回		12:30 ⑩ 明日を創る人々 (83分)	15:10 ⑬ ホープさん サラリーマン虎の巻 (88分)
21回	12:30 ⑮ 坊っちゃん社員 (96分)	15:20 ⑯ 續 坊っちゃん社員 (91分)	
23回	8/23回～8/28回上映回の チケット販売開始: 8/16回10:00～	15:30 ⑰ 天才詐欺師物語 ためきの中の狸 (96分)	18:20 ⑱ 標高8125米 マナスルに立つ (98分)
24回		15:40 ⑬ ホープさん サラリーマン虎の巻 (88分)	18:30 ⑲ 東京の休日 (87分)
25回		15:20 ⑳ 孫悟空(1959年作) (99分)	18:20 ⑰ 暗黒街 (98分)
26回		15:30 ⑮ 坊っちゃん社員 (96分)	18:20 ⑯ 續 坊っちゃん社員 (91分)
27回		12:30 ⑱ 標高8125米 マナスルに立つ (98分)	15:25 ⑳ 孫悟空(1959年作) (99分)
28回	12:30 ⑰ 暗黒街 (98分)	15:30 ⑲ 東京の休日 (87分)	

8月


- 開場は開映30分前です。
- 開映後の入場はできません(予告篇はございません)。
- 各日11:00に開館します。
- 館内でのチケットの販売・発券はございません。

チケットの購入方法

7月26日(火)以降、毎週火曜日10:00より、**翌週(火～日)上映回**の電子チケット(126席・指定席)を**当館HPより公式チケットサイトにて各回の開映15分前までオンライン販売**します。

クレジットカードまたはd払いで購入
→メールに届くQRコードの表示で入場

- ・スマホ画面での入場が可能です。
- ・手数料無料 ・座席選択可
- ・PC購入の方はQRコードをプリントアウトしてご持参ください。

国立映画アーカイブHP → 

セブン-イレブンのコピー機で購入される方へ

発売日程は電子チケットと同じです。セブン-イレブンではチケットぴあを通じて各回25席のみ、各回の**開映15分前**まで販売します。

Pコード:552-290

- ・紙のチケットをご提示ください。
- ・発券手数料110円かかります。
- ・全席指定席/座席選択不可
- ・チケットぴあサイトでのオンライン販売はございません。
- ・館内でのチケット販売・発券はございません。

「東宝の90年 モダンと革新の映画史(1)」

でも山本嘉次郎監督の作品を上映します。

7月27日(水) 14:20 『ハイマレー沖海戦』(1942)
7月31日(日) 13:20 『綴方教室』(1938)

「東宝の90年 モダンと革新の映画史(2)」

2022年10月4日(火)～12月25日(日)
※途中休映日あり

展示室(7階)

【企画展】

常設展「NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史」も併設されています。

脚本家 黒澤明

Akira Kurosawa, Screenwriter
2022年8月2日(火)～11月27日(日)
* 月曜日および9月6日(火)～9日(金)、9月27日(火)～10月2日(日)は休室です。
主催:国立映画アーカイブ
企画協力:横田寿文
協力:黒澤プロダクション

映画監督黒澤明は、幾多の名脚本家に支えられて傑作映画を生み出しましたが、その若き日から、ドストエフスキーやバルザックといった文豪の影響を受けながら自身もシナリオを執筆することで成長しました。本展覧会では、『七人の侍』(1954)などの脚本の生成過程を分析し、他の監督への提供脚本、新発見の未映像化脚本も加えて、黒澤作品の専門家の協力のもと「シナリオ作家黒澤」の創作の秘密を解き明かします。

常設時間=11:00～18:30(入室は18:00まで)
* 毎月末金曜日は11:00～20:00(入室は19:30まで)
料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上・高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料
*()内は20名以上の団体料金です。
* 学生、65歳以上、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
* 2022年11月3日(木)「文化の日」は、無料でご覧いただけます。
* 国立映画アーカイブの上映観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

NFAJ Digital Gallery デジタル展示室 Digital Gallery
下記ホームページからお入りください NFAJ
<https://www.nfaj.go.jp/online-service/digital-gallery>



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線京町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八洲橋南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル050-5541-8600
ホームページ: www.nfaj.go.jp

Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR
Instagram: nationalfilmarchiveofjapan